

# 吉野川ラムネット通信



2010.9.25

## 「吉野川をラムサールに」に向けて

7月27日に吉野川ラムサールネットワークが設立されてから早や一ヶ月半たちました。そしてみんなが期待して待った8月24日、環境省のラムサール条約湿地候補地検討会で、吉野川河口域が、潜在候補地となったことは、本当に嬉しい知らせでした。潜在候補地は、全国で192箇所選定され、四国では8箇所あり高知県の四万十川も候補地となっています。2年後ルーマニアで開催されるラムサール条約締約国会議までに192という数字がかなり調整されていくと思われまます。すでに潜在候補地の中には、自治体、市長や市民団体の呼びかけでシンポジウムなどを開催したりして、行政主導あるいは、行政と市民が協働してラムサール条約湿地登録に向けたアピールを積極的に行っているところもあります。



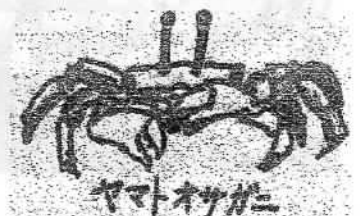
吉野川は、国際基準の評価は高いのですが、最後まで残るためには、地元の熱意が大事なのです。現在集めている署名の数をもっともっと増やし、私たちが、いかに吉野川のラムサール条約の登録を願っているかを示す必要があります。



私が初めて吉野川の河口を見たとき、ゆったりと川が流れその向こうに空がみえ、広々とした風景に感動しました。あれから吉野川を知れば知るほど、吉野川のすばらしさが、わかってくるのです。ぜひ皆さんも吉野川にでかけ、ゆっくり吉野川をみてください。見慣れた風景が、また違ったものとなることでしょう。街中にありながら今も豊かな産物が採れる吉野川をラムサール条約湿地とすることで、「世界の吉野川」となり、徳島のまちづくりに活かすことができると期待しています。

ラムサール条約湿地への道のりは遠く感じますが、これからも青海苔やシジミなどがとれる吉野川であり続けられるように、ご一緒にがんばりましょう。

(藤永知子)



# 吉野川への思い

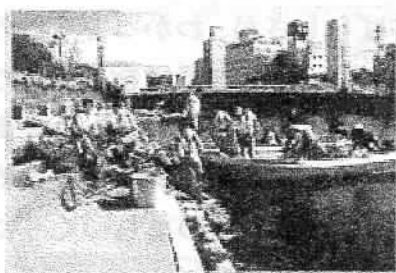
NPO法人 新町川を守る会理事長 中村英雄

**私が新町川をはじめとする**地域河川の環境保全や向上を目的とする活動に係わり始めて、今年で丁度二十年になります。20代から父親のあとを継ぎ、市内中心部で数件の靴屋を経営していた私は、町全体の発展が無ければ個人商店の繁栄はない。また、主流は郊外の大型SCに移り、付加価値を求める消費者には従来の発想だけでは、商店街の行き詰まりは見えていました。今後の発展のためには、文化や環境をキーワードにしたまちづくりの必要を感じ、中心部を流れる河川の活用を感じ着目したのが、最初の川との出会いでした。

**全国他都市と同様に**市内中心部を流れる網状河川も工場や家庭排水で川は汚れ、小学生の写生大会で描く川の色は真っ黒に書かれているエピソードが残っています。「川の生かしたまちづくり」を商店街に呼びかけても見向きもされませんでした。仕方なく友人に声をかけて、平成2年3月に10人で河川のゴミ拾いから始めました。当時は市民の手で河川環境を浄化するという事が一般的ではなく、川掃除は役所の仕事と市民からは覚めた目で見られていました。毎月2回の船からの清掃はゴミで満杯となる大仕事でした。今ではマスコミや官公庁・企業・市民の理解を得て活動も多岐にわたってきました。

**その中でも吉野川源流から河口まで**を対象とした河川環境啓発イベント「吉野川フェスティバル」には毎年5万人を超える参加者があります。今年の清掃では吉野川河口洲に、野鳥の会・漁師・官公庁・自然保護協会等と、色んな人たち270人が上陸し、10トンのゴミを回収しました。また、源流の大川村では人口が減少し国内最小人口の自治体になり、森は手入れされない線香林が多くなっています。少しでも山を守るため、源流に「3001年の森作り」を展開して、源流の村で住民との交流や、広葉樹の森作りを拡大しています。山が荒れると川も海も荒れます。

**吉野川194キロはあらゆる面で四国の暮らしを支えています。豊かな川を子どもたちに受け継いでいくことが、今を生きる私たちの仕事であります。このことを一日も早く四国市民が共有できるようにこれからも精力的に活動を続けて行こうと考えています。**



インフォメーション・・・・・・・・・・・・・・・・

## できる人が、できる時に、できることを

NPO法人新町川を守る会は、新町川を中心にした徳島の川全体をみんなの手できれいにしていこうとする有志の会です。

月数回の清掃や花植え、植樹、イベント活動などを通じて徳島の川を「チョビットづつ」きれいにしていきたい・・・楽しみながらボランティア活動をしてゆく肩の張らない会です。

「最近、川がきれいになったね。」そんな声をかけていただけるようになりました。どのような形でも結構です。この会の活動にご賛同いただきましたら、ぜひ参加、応援して下さい！

(HP「NPO法人新町川を守る会より転載」)

# 吉野川河口域を

## ラムサール条約湿地に登録しよう！！

干潟は、微生物やゴカイ・カニ・エビを育て、葦を茂らせ、水を浄化してくれます。また、シギやチドリなど渡り鳥にとって、羽を休め餌をとり、次の旅への命をつなぐ大切な場所です。

吉野川ラムサールネットワークでは、身近で自然豊かな吉野川河口域（第十堰から河口まで）をラムサール条約湿地に登録するために活動しています。

ラムサール条約とは、干潟、河川、海岸、水田、地下水系など水環境の働きや生態系を守るために制定された国際条約です。世界で158カ国が加盟、日本の登録地は37ヶ所ありますが、残念ながら四国にはまだひとつもありません。環境省は去る8月24日候補地を選定、吉野川も合格しました。これから必要なのは国や県を動かす市民の声です。

みんなの宝物として、次世代の子供たちに残していくために、吉野川を愛する人たちに呼びかけるものです。

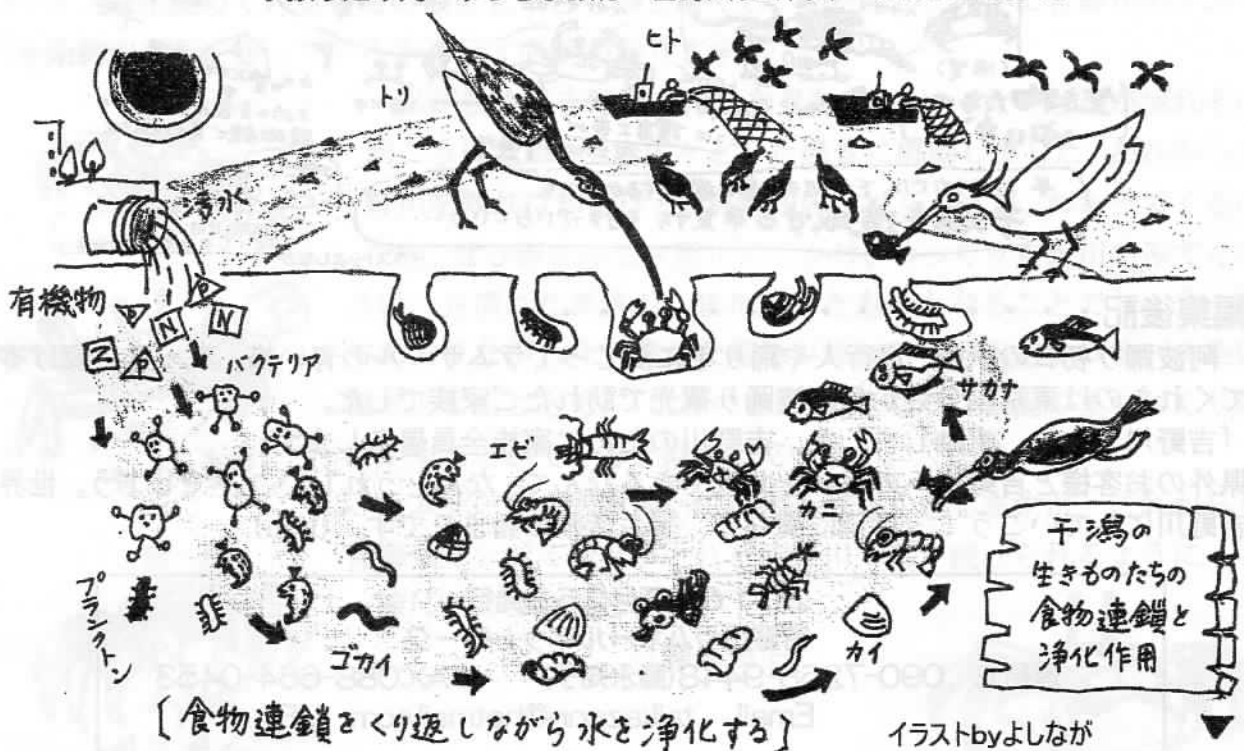
### 署名活動にご協力をお願いします！！

### 賛同人を募っています！！

☆ラムサール条約湿地に正式登録され、その後も長く見守り育てていく資金の一部として、一口千円からの賛同金をお願いします。

♪問い合わせ&お申し込みは、藤永まで 090-7268-9448

♪振り込み先：ゆうちょ銀行 吉野川ラムネット 01640-6-52973





## 行事報告 7月～9月

### ■ ラムネットスタート集会

7月27日(火) 午後6時30分～8時45分 ふれあい健康館1Fホール

### ■ ラムネット拡大会議

9月9日(木) 午後18時30分～8時30分 ふれあい健康館

### ■ 署名活動

8月12日(金) 午前11時～12時 JR徳島駅前

8月20日(金) 午後4時～5時 同上

8月27日(金) 午後4時～5時 同上

9月10日(金) 午後4時～5時 同上

### ■ ウォッチング&ウォーキング

9月12日(日) 午後2時～4時 吉野川河口

## 活動予定 10月～11月

### ■ 署名活動

10月1日(金) 午後4時～5時 タクト南島田店前

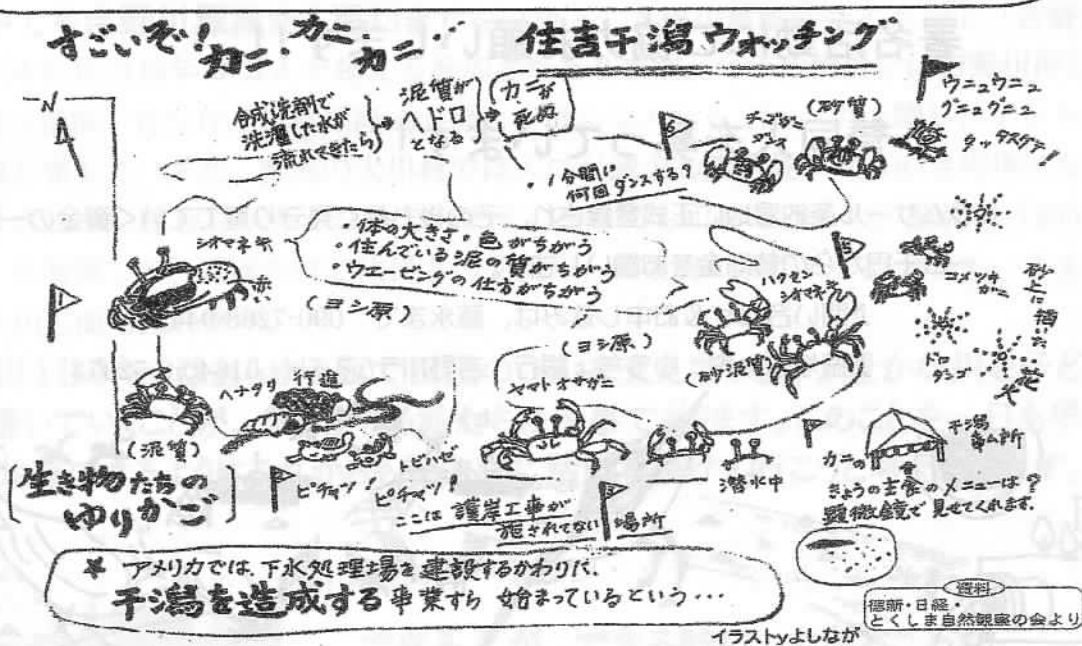
10月8日(金) 午後4時～5時 とくしま生協佐古店前

10月29日(金) 午後4時～5時 未定

### ■ ウォッチング&ウォーキング

11月21日(日) 午前9時～11時 吉野川河口

(野鳥の会主催探鳥会にあわせて)



## 編集後記 . . . . .

阿波踊り初日の駅前、通行人や踊り手に混じってラムサールの青い幟。真っ先に駆け寄ってくれたのは東京国分寺から阿波踊り観光で訪れたご家族でした。  
「吉野川ですね。感動しました。吉野川のために家族全員署名します。」  
県外のお客様と吉野川への思いを共有できるなんて、なんとうれしいことでしょう。世界の吉野川にしていこう! 希望に満ちて、署名活動の始まりです。(kon)

2010年9月25日発行  
吉野川ラムサールネットワーク  
連絡先 090-7268-9448(藤永知子) FAX:088-664-0453  
Email taikazann@hotmail.com URL